

ぱれっとを支えるボランティア 『相馬・谷口&ボランティア 大いに語り合う!』

【参加者】相馬理事長・谷口理事・
佐々木(えびす・ぱれっとホーム職員)
内尾・新保・増子(お弁当作りボランティア)
安田(つうしん発送ボランティア)

私たちぱれっとの活動は、大変多くのボランティアさんに支えられています。今回は、長年にわたっておかし屋ぱれっとの通所員にお弁当を作ってくださいっている方々と、ぱれっとつうしんの発送をお手伝い頂いている方に集まってもらい、相馬理事長、谷口理事とともにボランティア活動についてのざっくばらんな座談会を開きました。

関わりは・・・?

相馬: まずはそれぞれの関わりを。内尾さんは私がおかし屋ぱれっとで働き始めた頃からでしたか・・・。

内尾: 最初はおかし屋ぱれっとの作業のお手伝いをしていました。谷口さんが所長の頃で・・・。

谷口: 当時、私はボランティアさんにも厳しくてね(笑)

相馬: その話はもう少し後で(笑。増子さんは、何年お弁当作りボランティアを?

増子: もう10数年になりますか。長くなりました。

相馬: お弁当作りは今、内尾さんのグループと、増子さんのグループで手分けして頂いていますね。新保さんは、何年になりましたか?

新保: ここに来る前に確認して来たら、6年でした。今日がちょうどお弁当作りだったんですが、61回目です。写真を毎回撮ってるんです。持って来ましたよ。

一同: すごいですね!

相馬: 安田さんは、ぱれっとに関わって何

年になりますか?

安田: もう15～6年になりますね。娘が小さい頃からなので。今や社会人ですから。

谷口: そうですね。去年は一緒にインドに行って発表したり。

安田: 本当にお世話になっています。

新保: お弁当作りは、前は毎週水曜日でしたが、今は月に2回になりましたね。内尾さんのグループと一回ずつで。

内尾: 高齢になりましたし。



新保: 私は「高齢者」という言葉は無いと思っているんですよ。心は万年少女ですから!(笑)

一同: それいいですね!

ボランティアをやっていると思うことは

相馬: 内尾さんは、ボランティアをやっている何か思うことはありますか?

内尾: これは私の財産とも言えるんですけど、「家族愛」を感じますね。通所員を家族で支えていて。いいなって思います。

相馬: 増子さんはどうですか?

増子: 通所員の皆さんと一緒にお弁当を作っていますが、最初の頃こそ、少し構えていたものの、今は全く障がいのある人という意識が無く、楽しくやっています。

安田：お弁当作りを通所員も一緒にやっているんですか？

相馬：そうなんです。包丁を持ったことが無い人たちにも経験を積んでもらおうと。

新保：時間に限りがあることですが、学びのためにという部分も大きいので、工夫しながらやっています。早く出来て良かったねとか褒めることも大事だと思っています。

谷口：声かけですよ。それは大事ですよ。

内尾：私たちだって褒められたら嬉しいです。でも、見ていると「あ、この人は家でもやっているな、この人はやってないな」というのがわかりますね。

安田：私も娘の職場の方からよく指摘されます...

相馬：家で経験を積むことは大事ですね。

谷口：親の姿勢かな。昔のお母さん方のほ

アが増えましたね。全体的に。

佐々木：ホームの料理ボランティアさんも、以前は主婦の方が多かったですが、社会人の関わりが増えましたね。仕事帰りに、とか休みの日に、と言った感じで。

相馬：おかし屋ばれっとの作業のボランティアさんは減りました。以前は手伝ってもらわないと製造が間に合なかったですからね。今はそれだけ通所員の力量が上がったということじゃないでしょうか？

内尾：そうですね。谷口さんが所長をやっていた頃は、毎日ボランティアさんが入っていて、それはもう厳しかった(笑)

谷口：通所員には「時間を守りなさい」と指導していましたからね、ボランティアさんも、無断で遅れるのは許しませんでした。当時はそこまで厳しい作業所は他に無かったんじゃないかな。

内尾：でも、家族も含めて、皆で頑張ろうってまとまりも強かったですよ。

増子：その厳しさは今も受け継がれていると思います。障がいがあっても、だめなものだめというのが伝わってきます。



うが、子どもに家のことを積極的にやらせていたように思いますが。

内尾：自分がいなくなった後のことを皆さんすごく気にされていたように思います。

谷口：コンビニエンスストアなどの普及で良い意味でも悪い意味でも便利になりましたからね。障がいの有無に関係なく、家の基本的なことをやらせない親が増えているような気がします。

ボランティアにも厳しかった

相馬：安田さんはばれっと全体を見ていて何か聞いてみたいことってありますか？

安田：ボランティアの数や関わりの深さは変わっているんでしょうか？

谷口：数というより、社会人のボランティ

最後に

新保：今、食品添加物が問題になっています。お弁当を買うよりは、同じ金額で材料を買って、簡単なものでも自分で作るという学びが本当に大事だと思うんです。

谷口：食べるのって大事ですからね。

新保：皆と仲良くなりたいのであれば、食べ物好き嫌いを言わないことですね。

一同：その通りですね！勉強になります！

内尾：昔のように親の皆さんとお話する機会がもっとあれば良いですね。

相馬：久しぶりに交流会をやりませんか！

一同：賛成！！

座談会は予定を大幅にオーバーして続けました。多くの皆さんの想いに支えられているということを改めて実感する時間でした。
(認定NPO法人ばれっと事務局 南山達郎)